

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(介保) 高額介護サービス費給付事業				会計区分	5	介護保険特別会計	所管部署	長寿介護課			
					予算科目	2	款					3
事業番号	8045				事業区分	政策的事業【義務】			シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)							所属長名	野間	野間	福積	
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造										
	基本施策	健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践						担当責任者	山本	山本	山本	
根拠法令等	介護保険法											
関係する計画等	高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画							事務担当者	長崎	大西	上田	
事業の目的【ゴール】	対象	介護サービスを利用し、1か月に支払った利用者負担額が一定の上限額を超えた要介護者										
目指すべき姿を簡潔に	意図	介護サービスを利用する低所得者に対し、利用者負担額が高額となる場合にその一部を助成することで、利用者負担の軽減を図る。						事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			
事業内容【アクティビティ】	同一月に受けた介護サービスの利用者負担の合計額が、段階ごとに定められた負担限度額を超えた場合に、超過分を支給する。								事業終了年度 (予定)	令和 年度(予定) □ 設定なし		
事業の実施方法	□ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理	□ 補助金・負担金等	□ その他 ()						
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう			□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに			□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を		
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに			□ ゴール 8	働きがいも経済成長も			□ ゴール14	海の豊かさを守ろう		
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を			□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう			□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう		
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに			□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう			□ ゴール16	平和と公正をすべての人に		
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう			□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを			□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に			□ ゴール12	つくる責任つかう責任						

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	新型コロナウイルスの5類移行により介護サービスを利用する方が増加傾向となる。	⇒ 例年の給付額を基に、認定者数の増加を踏まえ、適正な予算計上に努める。	⇒ 適正かつ迅速に個人へ支給をすることができた。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳								
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細節	事業費（千円）				摘 要	
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	※代表的なものを簡潔に	
予 算	当 初 予 算	94,800	94,800	91,200	104,000			負担金・補助及び交付金	負担金	85,453	88,374	94,262	104,000	高額介護サービス費
	補 正 予 算			6,000										
	前年度から繰越													
	予 備 費 等													
	計	94,800	94,800	97,200	104,000									
決 算	執 行 額	85,453	88,374	94,262										
	翌年度へ繰越													
財 源 内 訳	国庫支出金	22,996	23,598	25,248	27,466									
	県 支 出 金	10,651	11,019	11,776	13,000									
	地 方 債													
	そ の 他	39,589	41,124	44,221	48,977									
	一 般 財 源	12,217	12,633	13,017	14,557									
	執行率（％）	90.1%	93.2%	97.0%										
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		90.1%	93.2%	97.0%										
正規職員の人工数		0.51	0.51	0.55										
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895										
※ 執行額＋人件費		89,428	92,334	98,604				上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの
								事業費の総計		85,453	88,374	94,262	104,000	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	必要な介護サービスに係る給付費を支給することで、高齢者福祉の向上に寄与することができた。
	指標①	給付件数	件		7,786	7,743	7,781		
	指標②							事業遂行に係る課題・改善点	高齢化に伴い、介護サービス利用者が増加傾向にあり、事業費の増加が見込まれている。
	指標③								
	指標④							課題解決に向けた方策等	介護認定の適正化やケアプラン・住宅改修等の点検などの介護給付費の適正化及び介護予防の取組により、事業費の増加を防ぐ。

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。